

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年9月11日(2008.9.11)

【公開番号】特開2007-34843(P2007-34843A)

【公開日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【年通号数】公開・登録公報2007-005

【出願番号】特願2005-219394(P2005-219394)

【国際特許分類】

G 0 6 F	3/12	(2006.01)
H 0 4 N	1/00	(2006.01)
B 4 1 J	29/38	(2006.01)
G 0 6 F	1/32	(2006.01)
G 0 6 F	1/26	(2006.01)

【F I】

G 0 6 F	3/12	K
H 0 4 N	1/00	C
B 4 1 J	29/38	Z
G 0 6 F	3/12	D
G 0 6 F	1/00	3 3 2 Z
G 0 6 F	1/00	3 3 4 H

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月28日(2008.7.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像形成装置であって、

少なくとも1つの外部装置とデータ通信を行う通信手段と、

データ通信機能を備えず且つ外部からの特定の識別子を含むアクセスを検知する検知手段と、

前記通信手段を稼動させた第一電力状態から、前記通信手段への通電を抑制し前記検知手段への通電を行う第二電力状態への移行を示す省電力移行通知を外部に出力する第一出力手段と、

前記第二電力状態から第一電力状態への移行を示す省電力復帰通知を外部に出力する第二出力手段とを有し、

前記外部装置においては、前記省電力移行通知を識別したことに応じて前記識別子を含むアクセスを抑制し、前記省電力復帰通知を識別したことに応じて前記識別子を含むアクセスを再開することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記第一出力手段は、前記省電力移行通知を複数回外部に出力することを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記第二出力手段は、前記省電力復帰通知を複数回外部に出力することを特徴とする請求項1又は2に記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記外部装置においては、前記画像形成装置の状態問合せに伴う前記アクセスが抑制され、印刷ジョブ要求に伴うアクセスは抑制されないことを特徴とする請求項1乃至3の何れか1項に記載の画像形成装置。

【請求項5】

前記アクセスは、前記画像形成装置の状態を問い合わせに伴うA R Pパケット通信であることを特徴とする請求項1乃至4の何れか1項に記載の画像形成装置。

【請求項6】

電源制御方法であって、

少なくとも1つの外部装置とデータ通信を行う通信手段による通信工程と、
外部からの特定の識別子を含むアクセスを検知手段により検知する検知工程と、

前記通信手段を稼動させた第一電力状態から、前記通信手段への通電を抑制し前記検知手段への通電を行う第二電力状態への移行を示す省電力移行通知を外部に出力する第一出力工程と、

前記第二電力状態から前記第一電力状態への移行を示す省電力復帰通知を外部に出力する第二出力工程とを備え、

前記外部装置においては、前記省電力移行通知を識別したことに応じて前記識別子を含むアクセスを抑制、前記省電力復帰通知を識別したことに応じて前記識別子を含むアクセスを再開することを特徴とする電力制御方法。

【請求項7】

前記第一出力工程は、複数回の前記省電力移行通知の外部への出力処理を含むことを特徴とする請求項6に記載の電力制御方法。

【請求項8】

前記第二出力工程は、複数回の前記省電力復帰通知の外部への出力処理を含むことを特徴とする請求項6又は7に記載の電力制御方法。

【請求項9】

前記外部装置においては、画像形成装置の状態問合せに伴う前記アクセスが抑制され、印刷ジョブ要求に伴うアクセスは抑制されないことを特徴とする請求項6乃至8の何れか1項に記載の電力制御方法。

【請求項10】

前記アクセスは前記画像形成装置の状態を問い合わせに伴うA R Pパケット通信であることを特徴とする請求項6乃至9の何れか1項に記載の電力制御方法。

【請求項11】

請求項6乃至10の何れか1項に記載の電力制御方法の各処理をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項12】

請求項11に記載のプログラムを記憶したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。